

飛島情報通信基盤整備・保守・運用業務
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和2年12月1日

飛島情報通信基盤整備業務委託プロポーザル審査委員会

1 募集及び選定

(1) 募集及び選定の方法

本市が発注する飛島情報通信基盤整備業務委託について、公募型プロポーザル方式により事業者を選定するため、学識経験者2名、県職員1名、市職員3名（業務に関連する担当部長職）の計6名で構成する飛島情報通信基盤整備業務委託プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置しました。

募集にあたっては、飛島情報通信基盤整備・保守・運用業務公募型プロポーザル実施要領（以下「実施要領」という。）を定め、本事業への参加を希望する提案事業者を公募しました。

提案事業者から提出された企画提案書等については、実施要領及び飛島情報通信基盤整備・保守・運用業務公募型プロポーザル要求水準書に基づき、事務局が資格要件の確認を行い、審査委員会が企画提案書等の内容を審査しました。提案書の内容の審査にあたっては、提案事業者による提案プレゼンテーションを実施しました。

なお、公平かつ適正な選定を行うため、提案事業者名は伏せて審査を行いました。

(2) 募集の経過

- | | |
|---------------|---------------|
| ① プロポーザル実施公告 | 令和2年10月23日（金） |
| ② 参加表明書等の提出期限 | 令和2年11月10日（火） |
| ③ 質問書の提出期限 | 令和2年11月13日（金） |
| ④ 企画提案書等の提出期限 | 令和2年11月20日（金） |

(3) 審査委員会

① 審査委員

審査委員会の構成は、次のとおりです。

（敬称略、委員長・委員長代理以外は五十音順）

| | | |
|-------|-------|----------------------|
| 委員長 | 宮崎 和幸 | （市企画部長） |
| 委員長代理 | 大谷 謙治 | （市市民部長） |
| 委員 | 齋藤 真朗 | （山形県庄内総合支庁連携支援室長） |
| 委員 | 竹越 攻征 | （市農林水産部長） |
| 委員 | 広瀬 雄二 | （東北公益文科大学准教授） |
| 委員 | 渡辺 雄二 | （山形県立産業技術短期大学校庄内校教授） |

② 審査委員会の開催経過

審査委員会は、次のとおり開催しました。

| | 開催日 | 議事 |
|-----|-------------------|---|
| 第1回 | 令和2年 10月19日（月） | (1) 飛島情報通信基盤整備・保守・運用業務公募型プロポーザル実施要領について ①実施要領の内容について |

| | | |
|-----|-------------------|---|
| | | ②要求水準書の内容について (2) 評価基準について ①評価方法の考え方について ②評価基準の点数配分について (3) その他 |
| 第2回 | 令和2年 11月26日(木) | (1) 企画提案者による提案プレゼンテーション及び 質疑応答 (2) 提案内容の審査及び評価並びに事業者の決定 (3) その他 |

2 選定の結果

(1) 応募状況

令和2年10月23日に実施要領等を公表し、令和2年11月20日までに企画提案書等を受け付けたところ、1者から応募がありました。

(2) 審査項目

① 資格要件の確認

提案事業者が資格要件を満たしていることを事務局が確認しました。

② 企画提案書等の内容に関する審査

提案書の内容の審査にあたっては、提案事業者による提案プレゼンテーション及び質疑応答を実施し、その結果を踏まえ、審査委員会にて企画提案書等の内容の審査及び評価を行いました。

なお、公平かつ適正な選定を行うため、提案事業者名は伏せて審査を行いました。

(3) 最優秀提案事業者及び次点者の選定結果

審査委員会は、提出された企画提案書等の内容を審査した結果、受託能力があるものと判断し、次の事業者を最優秀提案事業者に認定しました。

最優秀提案事業者 東日本電信電話株式会社山形支店

(4) 企画提案に対する講評

これまでの豊富な経験、実績に基づき、調査及び工事のスケジュール、工程管理、実施体制、さらには完成後の活用策など全般的に有効な提案となっている点が評価されました。

なお、事業の実施に際しては、課題解決に対する協力、基本設計に変更が生じた場合の柔軟な対応、島内設備に不具合が発生した場合の復旧方法、独自提案の実現に向けた積極的な関与などを期待する意見がありました。

(5) 総 評

この度の事業者募集は、入札方式のように単に提案価格で事業者を選定するのではなく、豊富な経験と実績を持つ提案事業者から事業の実施手法や、情報通信基盤を活用した飛島の振興策について提案を募るため、公募型プロポーザル方式としました。

提案事業者からの提案には、様々な工夫やアイデア・ノウハウが盛り込まれており、非常に魅力的なものでありました。

提案事業者におかれましては、限られた時間の中、多大な労力と熱意をかけて魅力的な企画提案にご尽力いただいたこと、また、本審査委員会の円滑な進行にご協力いただいたことに対しまして、審査委員一同より敬意を表するとともに、深く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

令和2年12月1日

飛島情報通信基盤整備業務委託プロポーザル審査委員会委員長